学校番号	122

平成31年度　　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	5	年次	1年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　国語総合」（第一学習社）						
副教材等	①「look@　古文単語337」（京都書房）②「基礎から学ぶ 解析古典文法」（桐原書店）③「新訂国語図説 四訂版」（京都書房）　④「基礎から学ぶ 常用漢字」（第一学習社）　④「現代文 解法のテクニック 1基礎編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、小説・詩・短歌・俳句、古文の物語・漢文・漢詩といった様々な種類の文章や韻文が登場します。それらを読み込み、味わうことで自分自身の感性を豊かのものにしましょう。そのためには、自分の頭で考え、自分の力で作品を読み込むことが必要です。時には、理解しにくい文を読み続ける忍耐が要ることもあります。頭を使って読解し作品の深みを味わうことができたときには、何ににも代えがたい感動があります。また、そのように作品を通して学んだことや自分の考えを書いたり発表したり、人の意見を聞いたり読んだりすることで、積極的に表現力を身につけて下さい。

2　学習の到達目標

・文学作品を深く味わうことのできる基礎としての読解力や語彙力を身につける。
・伝え合う力へとつながる表現力や音声言語力を身につける。
・総じて、様々な言語活動を通して豊かな言語感覚を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声、文法、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（授業や課題への取り組み） ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（発表や朗読等の音声言語活動） ・記述の確認（発表時等における相互評価への取り組み）	・記述の確認及び分析（ワークシート、短作文、作文、韻文創作等）	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	随想（一）	『驚くという才能』	○	◎		○		a：考えをまとめようとしたり、的確に聞き取ろうとしている。 b：考えをまとめて話したり、的確に聞き取っている。 d：文章を的確に読み取っている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：記述の点検 定期考査
	小説（二）	『夢十夜』(第一夜)	○		○	◎		a:人物の心情を的確にとらえようとしている。 c:考えをまとめて適切に文章にしている。 d:人物の心情を的確にとらえている。	a：行動の観察 c：記述の点検 d：記述の点検 定期考査
	詩	『自分の感受性くらい』 『I　was　born』	○		◎	○		a:考えをまとめて適切に文章にしようとしている。 c:考えをまとめて適切に文章にしている。 d:詩を的確に読み取っている。	a：行動の観察 c：記述の点検 d：記述の点検 定期考査
	評論（一）	『水の東西』	○			◎	○	a:文章を的確に読み取ろうとしている。 d:文章を的確に読み取っている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a：行動の観察 d：記述の点検 定期考査 e：定期考査
	小説（二）	『夢十夜』（第六夜）	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:様々な角度から検討し自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べる。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：記述の点検 定期考査
1	古文入門	『児のそら寝』	◎	○			○	a:文章を読み深めるために正確に音読しようとしたり、聞き取ろうとしている。 b:文章を読み深めるために正確に音読することができる。正確さを判断できる。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 e：定期考査
	物語を楽しむ	『竹取物語』	◎	○		○		a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 b:文章を正確に音読したり、正確な音読かを判断できる。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
		『伊勢物語』	○			○	◎	a:作品理解に役立てる為の古文単語や古典文法、文学史の知識を身につけようとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:作品理解に役立てる為の古文単語や古典	a：行動の観察 d：記述の点検 定期考査 e：定期考査

2	随想（二）	『交換は愉しい』	○	○		◎		a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
	小説（二）	『鏡』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
	随想(二)	『わからないからおもしろい』	○			○	◎	a:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけようとしている。 d:文章に内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a：行動の観察 記述の点検 d：定期考査 e：定期考査
	小説(一)	『羅生門』	○			◎	○	a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a：行動の観察 記述の点検 d：定期考査 e：定期考査
	短歌と俳句	「その子二十」 「こころの帆」	○		◎	○		a:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとしている。 c:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。 d:作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	a：行動の観察 c：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
2	漢文入門	漢文の学習 訓読に親しむ（一） 訓読に親しむ（二） 訓読に親しむ（三）	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な語句や訓読のきまりごとを身につけようとしている。 d:漢文を口語訳し解釈することができる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のきまりごとを身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	日記を読む	『土佐日記』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	随筆を読む	『徒然草』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	和歌と俳諧	『万葉集』	○			◎	○	a:作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:作品を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	故事成語	『漁夫之利』	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a：行動の観察 記述の点検 d：定期考査 e：定期考査

3	評論（二）	『ネットが崩す公私の境』	○	○		◎		a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしようとしている。 b:課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしている。	a:行動の観察 記述の点検 b:行動の観察 記述の点検 d:定期考査
	小説（三）	『城之崎にて』	○			◎	○	a:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d:文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。 e:文章を理解するのに必要な語句などを知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:小テスト 定期考査
	軍記物語を読む	『完璧』	○			◎	○	a:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な古文単語や古典文法を知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査
	古代の史話	『先ず隗従り始めよ』	○			○	◎	a:文章を理解するのに必要な訓読のルールを知識として身につけようとしている。 d:文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。 e:文章を理解するのに必要な語句や訓読のルールを知識として身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

副教材は、教科用図書の理解を助けたり参考の資料として、常に参照するものとして使用する。